



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 味の素株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2802 URL <http://www.ajinomoto.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 伊藤 雅俊

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小林 幸彦

TEL 03-5250-8161

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	296,395	△2.6	21,672	△0.7	22,634	1.2	13,940	105.8
23年3月期第1四半期	304,382	6.6	21,835	43.8	22,373	28.1	6,773	△36.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 9,313百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △12,190百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	20.14	—
23年3月期第1四半期	9.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,064,352	637,852	56.1
23年3月期	1,077,418	650,291	56.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 597,212百万円 23年3月期 608,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	1,245,000	3.1	69,100	△0.4	69,000	△2.1	37,000	21.7	53.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、予算編成を通期ベースで行っており、業績の進捗管理およびその評価は通期でのみ実施しているため、中間点である第2四半期(累計)における業績予想は、記載を省略しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連絡範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P5. 「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	700,032,654 株	23年3月期	700,032,654 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	17,792,732 株	23年3月期	2,255,060 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	692,055,120 株	23年3月期1Q	697,866,356 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P4. 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は平成23年7月29日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)における世界経済は、欧州を中心とする金融市場の不安や原燃料価格の変動等があったものの、新興国の景気は緩やかに拡大し、全体としても緩やかながら回復の動きが見られました。

わが国経済は、東日本大震災による生産活動の低下、消費の落ち込み等から持ち直しつつあるものの、電力不足や、原子力発電所事故の影響もあり、今後の景気の本格回復には依然として不透明な状況が続いています。

食品業界におきましては、緩やかなデフレの市況の中、食品原料の価格は上昇しており、厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期を79億円下回る2,963億円(前年同期比97.4%)となり、利益面では、営業利益は前年同期を1億円下回る216億円(前年同期比99.3%)、経常利益は前年同期を2億円上回る226億円(前年同期比101.2%)、四半期純利益は前年同期を71億円上回る139億円(前年同期比205.8%)となりました。

セグメント別の概況

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(億円)

	売上高	前期増減	前期比	営業利益	前期増減	前期比
国内食品	1,054	△3	99.7%	105	41	166.0%
海外食品	574	△10	98.3%	60	△26	69.5%
バイオ・ファイン	518	△2	99.4%	35	6	121.4%
医薬	195	△21	90.2%	14	△24	36.5%
提携事業	443	△23	94.9%	3	0	106.5%
その他	176	△18	90.4%	△2	0	—
合計	2,963	△79	97.4%	216	△1	99.3%

(注) 1. 当第1四半期連結累計期間より調整額を各セグメントに配賦し、前期数値も組み替えて比較しております。

(注) 2. 当第1四半期連結累計期間よりアミノ酸サプリメント「アミノバイタル®」(国内分)は、その他事業に、家庭用・外食市場向け低カロリー甘味料(国内分)は、バイオ・ファイン事業に区分されております。

(注) 3. 国内外の食品加工業向け「アクティブ®」類および天然系調味料は、国内食品事業に区分されております。

(注) 4. 香港のアモイ・フード・グループの冷凍食品は、国内食品事業に区分されております。

(国内食品事業)

国内食品事業の売上高は、前年同期を3億円下回る1,054億円(前年同期比99.7%)、営業利益は前年同期を41億円上回る105億円(前年同期比166.0%)となりました。売上高は震災の影響を受けたものの前年同期並みとなりました。営業利益は、販売費の減少等により、前年同期を大幅に上回りました。

<調味料・加工食品>

家庭用調味料・加工食品につきましては、「ほんだし®」および中華だし類の売上げは好調に推移し、うま味調味料「味の素®」およびコンソメの売上げは、前年同期をわずかに上回りました。スープ類の売上げは、前年同期をわずかに上回りましたが、マヨネーズ類の売上げは、微減となり、「Cook Do®」(クックドゥ)およびケロッグ製品の売上げは微増となりました。

業務用調味料・加工食品につきましては、外食市場の低迷を受け、前年同期の売上げをやや下回りました。食品加工業向けの食感や物性を向上させる食品用酵素製剤「アクティブ®」類の売上げは、前年同期並みの実績を確保しましたが、天然系調味料は、震災の影響により需要が減少したため、前年同期を下回りました。

<デリカ・ベーカリー>

弁当・惣菜等のデリカ製品の売上げは順調に推移し、ベーカリー製品は、前年同期をやや上回りました。

<冷凍食品>

家庭用は、主力品の「ギョーザ」や「プリプリのエビシューマイ」の売上げは微増でしたが、「やわらか若鶏から揚げ」、「具だくさん五目炒飯」等の米飯類が好調であったため、売上げは堅調に推移しました。業務用は新商品の

貢献があったものの、震災後の外食市場の低迷もあり、前年同期並みの実績を確保するに留まりました。

<飲料>

売上げは前年同期をわずかに上回りました。

(海外食品事業)

海外食品事業の売上高は、為替の影響もあり、前年同期を10億円下回る574億円(前年同期比98.3%)、営業利益は、為替の影響および原料価格の高騰もあり、前年同期を26億円下回る60億円(前年同期比69.5%)となりました。

<調味料>

アジアでは、「味の素®」は前年同期並みとなりましたが、家庭用風味調味料が販売を伸ばしたため、売上げは堅調に推移しました。米州では、南米における家庭用風味調味料の販売が好調に推移し、売上げを伸ばしました。欧州・アフリカでは、西アフリカ諸国における家庭用「味の素®」の販売価格の引き上げにより、前年同期の売上げを大きく上回りました。

<加工食品>

アジアでは、即席麺および粉末飲料「Birdy® 3in1」(バーディ スリーインワン)の売上げが好調に推移し、缶コーヒー「Birdy®」(バーディ)等の飲料も堅調に推移しました。

<加工用うま味調味料>

国内では、震災の影響を受け、食品加工業向け「味の素®」、核酸ともに販売数量および売上げがともに前年同期を下回りました。海外では、食品加工業向け「味の素®」の販売数量が前年同期を下回ったものの、販売価格の引き上げにより前年同期の売上げをわずかに上回り、核酸の売上げは、競合会社の増産の影響を受けて販売数量が減少し、前年同期を大きく下回りました。

(バイオ・ファイン事業)

バイオ・ファイン事業の売上高は、前年同期を2億円下回る518億円(前年同期比99.4%)、営業利益は、前年同期を6億円上回る35億円(前年同期比121.4%)となりました。

<飼料用アミノ酸>

リジンは販売数量、売上げともに前年同期を大幅に上回り、スレオニンの売上げは前年同期並みとなりました。トリプトファンは販売数量、売上げともに前年同期を大幅に下回ったものの、全体として売上げは順調に推移しました。

<医薬用・食品用アミノ酸>

欧州での売上げが前年同期を大幅に上回ったものの、北米では為替の影響により前年同期の売上げを下回るとともに、国内での売上げが販売の減少により、前年同期を大幅に下回ったため、全体として売上げは前年同期を下回りました。

<甘味料>

家庭用・外食市場向けの低カロリー甘味料の売上げは、前年同期をわずかに上回りました。加工用の甘味料アスパルテムの売上げは、販売数量が減少するとともに為替の影響も受け、前年同期を大きく下回りました。南米におけるアスパルテムを使用した粉末ジュース「Refresco MID®」(リフレスコ ミッド)の売上げは好調に推移しました。全体として売上げは前年同期を下回りました。

<医薬中間体>

販売が減少したため、欧州での売上げが、前年同期を下回りました。

<化成品>

化粧品原料の売上げは、国内、海外ともに堅調に推移しました。アミノ酸化化粧品「Jino®」(ジーン)は、販売数量の減少により、前年同期を大きく下回りました。コンピュータ用の層間絶縁フィルムの売上げは前年同期を下回りました。

(医薬事業)

医薬事業の売上高は、前年同期を21億円下回る195億円(前年同期比90.2%)、営業利益は前年同期を24億円下回る14億円(前年同期比36.5%)となりました。自社販売製品の売上げは、震災による一部製品の生産停止の影響もあり、前年同期を下回り、提携販売品の売上げも前年同期を下回ったため、全体として売上げは前年同期を下回りました。営業利益は、研究開発費の増加等もあり大幅な減益となりました。

自社販売製品では成分栄養剤「エレンタール®」の売上げが前年同期をわずかに上回りましたが、肝疾患用分岐鎖アミノ酸製剤「リーバクト®」が前年同期を下回り、電解質輸液「ソリタ®-T」等の輸液類が前年同期を大きく下回りました。

提携販売品では、骨粗鬆症治療剤「アクトネル®」等のリセドロンート類の売上げが好調に推移しましたが、カルシ

ウム拮抗降圧剤「アテレック®」の売上げが前年同期を下回り、糖尿病治療薬「ファスティック®」等のナテグリニド類が前年同期を大きく下回りました。

(提携事業)

提携事業の売上高は、前年同期を23億円下回る443億円(前年同期比94.9%)、営業利益は、前年同期を23百万円上回る3億円(前年同期比106.5%)となりました。

<油脂>

販売数量が減少したため、前年同期の売上げを下回りました。

<コーヒー>

売上げは前年同期から微減となりました。

(その他)

その他事業の売上高は、前年同期を18億円下回る176億円(前年同期比90.4%)、営業損失は、前年同期から97百万円減少し2億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前期末の1兆774億円に対して130億円減少し、1兆643億円となりました。これは主として、自己株式の取得による現金及び預金の減少や在外子会社の貸借対照表の円貨への換算額が減少したことによるものです。

有利子負債残高は、前期末に比べて34億円増加し、1,368億円となりました。

純資産については、利益剰余金は増加したものの、自己株式の取得、為替換算調整勘定の変動等から、前期末に比べて124億円減少しました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は5,972億円となり、自己資本比率は56.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、平成23年5月9日に公表しました業績予想の修正は行っておりません。当社は、予算編成を通期ベースで行っており、業績の進捗管理およびその評価は通期のみで実施しているため、中間点である第2四半期連結累計期間における業績予想は、記載を省略しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

当社及び連結子会社は、税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	141,801	116,490
受取手形及び売掛金	195,465	193,613
有価証券	511	406
商品及び製品	87,445	95,956
仕掛品	7,370	7,487
原材料及び貯蔵品	40,495	40,182
繰延税金資産	11,204	11,897
その他	33,376	45,654
貸倒引当金	△1,238	△1,197
流動資産合計	516,432	510,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	350,654	350,981
減価償却累計額及び減損損失累計額	△209,127	△210,733
建物及び構築物(純額)	141,527	140,247
機械装置及び運搬具	508,083	506,681
減価償却累計額及び減損損失累計額	△391,574	△392,012
機械装置及び運搬具(純額)	116,509	114,668
土地	98,167	98,061
建設仮勘定	19,013	18,384
その他	69,345	69,715
減価償却累計額及び減損損失累計額	△56,513	△57,024
その他(純額)	12,832	12,690
有形固定資産合計	388,050	384,053
無形固定資産		
のれん	29,586	28,448
その他	35,901	34,875
無形固定資産合計	65,488	63,324
投資その他の資産		
投資有価証券	83,105	83,731
長期貸付金	1,060	1,018
繰延税金資産	10,090	9,652
その他	14,443	13,324
貸倒引当金	△988	△983
投資損失引当金	△264	△258
投資その他の資産合計	107,447	106,484
固定資産合計	560,986	553,862
資産合計	1,077,418	1,064,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	103,420	108,518
短期借入金	16,209	21,048
1年内返済予定の長期借入金	5,316	5,293
未払法人税等	7,900	8,124
賞与引当金	6,784	4,613
役員賞与引当金	360	82
資産除去債務	64	6
その他	78,286	71,529
流動負債合計	218,341	219,217
固定負債		
社債	69,989	69,989
長期借入金	39,282	37,911
繰延税金負債	15,591	15,183
退職給付引当金	58,554	59,304
役員退職慰労引当金	1,331	955
環境対策引当金	574	574
資産除去債務	540	576
その他	22,920	22,787
固定負債合計	208,786	207,283
負債合計	427,127	426,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	79,863	79,863
資本剰余金	182,716	182,716
利益剰余金	414,189	422,503
自己株式	△2,514	△17,050
株主資本合計	674,255	668,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,339	961
繰延ヘッジ損益	△31	△91
為替換算調整勘定	△67,045	△71,408
在外子会社の年金負債調整額	△327	△283
その他の包括利益累計額合計	△66,064	△70,821
少数株主持分	42,099	40,639
純資産合計	650,291	637,852
負債純資産合計	1,077,418	1,064,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	304,382	296,395
売上原価	201,368	195,482
売上総利益	103,014	100,912
販売費及び一般管理費	81,179	79,240
営業利益	21,835	21,672
営業外収益		
受取利息	202	464
受取配当金	454	513
持分法による投資利益	858	928
その他	1,107	402
営業外収益合計	2,623	2,309
営業外費用		
支払利息	689	563
その他	1,395	784
営業外費用合計	2,085	1,347
経常利益	22,373	22,634
特別利益		
投資有価証券売却益	—	270
その他	233	102
特別利益合計	233	372
特別損失		
投資有価証券評価損	7,689	24
災害による損失	—	799
その他	1,599	442
特別損失合計	9,288	1,266
税金等調整前四半期純利益	13,318	21,739
法人税等	4,624	6,313
少数株主損益調整前四半期純利益	8,693	15,425
少数株主利益	1,920	1,485
四半期純利益	6,773	13,940

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,693	15,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,767	△388
繰延ヘッジ損益	1	△47
為替換算調整勘定	△22,003	△5,742
在外子会社の年金負債調整額	16	43
持分法適用会社に対する持分相当額	△665	22
その他の包括利益合計	△20,884	△6,111
四半期包括利益	△12,190	9,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,365	9,183
少数株主に係る四半期包括利益	175	130

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内食品	海外食品	バイオ・ ファイン	医 薬	提携事業			
売上高								
外部顧客に対する売上高	105,756	58,509	52,158	21,669	46,787	19,501	—	304,382
セグメント間の内部売上高	1,628	1,683	1,338	31	32	14,954	△19,669	—
計	107,385	60,193	53,496	21,700	46,820	34,456	△19,669	304,382
セグメント利益又は損失 (営業利益又は損失)	6,350	8,691	2,947	3,857	361	△371	—	21,835

(注) 1. 「その他」には、健康ケア事業、包材事業、物流事業及びその他サービス事業が含まれております。

(注) 2. セグメント利益について、新算定方法ベースに組み替えて表示しております。算定方法の変更の内容につきましては、「II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

2. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	合計
売上高	201,102	49,365	29,541	24,373	304,382
連結売上高に占める比率	66.1%	16.2%	9.7%	8.0%	100.0%

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
当第1四半期連結累計期間における、重要な発生及び変動はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内食品	海外食品	バイオ・ ファイン	医 薬	提携事業			
売上高								
外部顧客に対する売上高	105,455	57,499	51,868	19,551	44,395	17,625	—	296,395
セグメント間の内部売上高	1,713	2,042	1,141	25	83	16,470	△21,476	—
計	107,169	59,541	53,009	19,577	44,478	34,096	△21,476	296,395
セグメント利益又は損失 (営業利益又は損失)	10,539	6,038	3,576	1,408	384	△274	—	21,672

(注) 「その他」には、健康ケア事業、包材事業、物流事業及びその他サービス事業が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、社内の管理体制の変更に対応し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

主な変更点は、各報告セグメントが売上高に応じて負担していた擬似ロイヤルティ・擬似コミッション制度を廃止した点、当社が採用している標準原価計算制度における原価差異のたな卸資産への配賦額および当社におけるたな卸資産の評価の調整額を計上する報告セグメントについて、「調整額」から該当する各報告セグメントに変更した点、および、当社の管理部門にかかる費用および一部の研究所費用である全社共通費について、売上高、総資産及び要員数の比率を用いて各報告セグメントへ配賦を行っている点等であります。

前期数値の新算定方法ベースの組替数値につきましては、「I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)」の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	合計
売上高	193,498	50,134	29,844	22,917	296,395
連結売上高に占める比率	65.3%	16.9%	10.1%	7.7%	100.0%

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間における、重要な発生及び変動はありません。

(参考情報)

所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	連結
外部顧客に対する売上高	208,463	43,880	28,714	23,324	304,382
営業利益	9,947	7,737	2,196	1,953	21,835

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	連結
外部顧客に対する売上高	199,822	44,230	29,247	23,095	296,395
営業利益	11,704	5,976	1,177	2,814	21,672

(注) 1. 国又は地域区分は、地理的近接度により区分しております。

(注) 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア：東アジア及び東南アジア諸国

米州：北米及び南米諸国

欧州：ヨーロッパ及びアフリカ諸国

(注) 3. 社内の管理体制の変更に伴い、所在地別セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。「調整額」について、売上高、総資産及び要員数の比率を用いて、各所在地別セグメントへ配賦しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、信託方式による市場買付の方法により平成23年6月30日までに普通株式15,527,000株、14,526百万円の取得を行いました。